

学校安全の手引



みんなで取り組む
千葉の教育

令和2年3月
千葉県教育委員会



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

まえがき

子どもたちが健やかに育つことは、全ての人々が望んでいることであり、そのためには、安全が確保された学びや活動の場の確保が必要です。

一方で、子どもたちは、単に守られるだけの存在ではなく、幼稚園から高等学校までの発達段階に応じて、自ら安全に対して主体的に考える力を育成し、生涯にわたって、健康で安全な生活を送るための基盤となる、基礎的な資質・能力を継続的に育成していくことが求められます。

教育委員会では、これまで、学校の安全の確保については、「安全管理の手引」を作成し、東日本大震災などを踏まえ、三訂版と版を重ねながら、これを活用し、各学校における安全管理を推進するとともに、安全教育に関しては、主として、国の指導資料などを活用し、地域に即した事例などを踏まえながら実施してまいりました。

しかしながら、近年も首都直下地震や南海トラフ巨大地震の発生が懸念されるほか、自然災害や交通事故、松戸市や新潟県で発生した登下校中の事件や、スマートフォンやSNSなどの従来想定されていなかった新たな危機現象などを踏まえて、昨年3月に文部科学省でも『「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育』を改訂しました。

また、昨年4月から5月にかけて、木更津市や滋賀県大津市での幼児児童が巻き込まれた交通事故や神奈川県川崎市で児童が被害にあった事件が発生し、交通安全や防犯に係る安全管理や安全教育を更に充実させることが重要と考え、これまでの「安全管理の手引」に安全教育に関する内容を加え、実際の指導事例などを盛り込み、現場で活用できるものを目指して「学校安全の手引」を製作することといたしました。

作成中の9月から10月にかけて、台風15号や19号、全県的な豪雨などにより大きな被害が発生したため、防災面でもこれまでの対応等を再検証する必要があり、これも盛り込む形となりました。

さらに、授業等で活用できるワークシートや危機管理マニュアル、カラー版の図表を多く掲載するなど、「使いやすい手引」を心がけて作成しました。

この「学校安全の手引」が学校等で広く活用され、地域の実情に合わせた安全教育の充実と適切な学校の安全管理に役立てていただけることを期待しております。

令和2年3月

学校安全保健課長 日根野 達也

子どもたちの「かけがえのない命」を守るために

～「学校安全の手引」の活用について～

<学校安全のねらい>

児童生徒等が、自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質・能力を育成するとともに、児童生徒等の安全を確保するための環境を整える。



<学校安全の活動>

安全教育

「学校教育活動全体を通じて行う横断的な指導」が必要というけれど、どう指導すればいいの？

「今までも行ってきた安全教育を、どのように関連づけていけば、より効果的なものとなるのか」

安全教育を実践する上でのポイントを、第2章に掲載しています。年間指導計画を立てるとき、授業のヒントが欲しいとき、子どもたちの周囲に危険が迫ったときなど、活用してください。



安全管理 (対人、対物)

子どもたちの命を守る「安全・安心な環境」作りのために、学校がやるべきことは何？

- ①学校安全計画の策定と見直し
 - ②危機管理マニュアルの作成・見直し・改善
 - ③適切な安全点検と改善
 - ④事故等発生時の心のケア などが重要です。
- 第3章、第4章に詳しく記載してあります。必要に応じて、巻末資料等も活用し、事件・事故等の未然防止に向けて取り組んでください。



組織活動

(組織的に取り組む協力体制の構築 ・ 教職員研修 ・ 家庭、地域、関係機関との連携)
地域ぐるみで安全を守り、安心して学校生活が送れるよう環境を整え、児童生徒等への実践的な安全教育を実施するためには、どのように組織活動を進めていけばいいの？

第5章に、組織活動における具体的な取り組み事例を示しています。学校だけで子どもたちの安全を確保することは不可能です。家庭・地域・関係機関と上手に連携して、子どもたちの安全・安心を守っていきましょう。



学校安全の手引 目次

第1章	千葉県における学校安全	
第1節	学校安全の意義	7
第2節	学校安全の考え方	8
第3節	学校安全計画の策定	11
第4節	危機管理マニュアルの作成	13
第2章	学校における安全教育	
第1節	安全教育の目標	17
第2節	安全教育の内容	
1	安全教育の3つの内容	18
2	教育課程における安全教育の内容	19
第3節	安全教育の進め方	23
第4節	安全教育の評価	
1	安全教育の評価の意義と内容	26
2	安全教育の評価の方法	27
☆各発達段階における安全教育の指導内容例		
	生活安全編	33
	交通安全編	59
	災害安全編	97
第3章	学校における安全管理	
第1節	事故等の未然防止のための安全管理	
1	学校環境の安全管理の方法	143
2	学校環境における安全管理上の留意点	145
3	自然災害等発生に備えた安全管理	147
第2節	学校生活の安全管理	
1	学校生活の安全管理の方法	148
2	学校生活の安全管理上の留意点	149
3	学校行事における安全管理の取組例	151
第3節	防犯に関する安全管理	
1	登下校時の防犯対策	153
2	不審者侵入を防止するための防犯対策	154
第4節	通学路の安全管理	
1	通学路の設定と安全確保	155
2	通学路の安全管理における取組例	156
3	安全な通学方法の策定・実施	157
4	地域全体で見守る体制の整備等	161
第5節	事故等の発生に備えた安全管理（危機管理体制の構築）	
1	危機管理に対する校長等の心構え	162
2	学校における危機管理の取組	163
3	事故等の発生に備えた学校体制の整備	164
4	危機管理マニュアル作成上の留意点	165
第6節	事件・事故発生時の対応	
1	事件・事故発生時における留意点	167
2	学校への不審者侵入に対する危機管理	169
3	登下校時の事件・事故（交通事故、犯罪等）に対する危機管理	171
4	運動中の事故（水泳事故、運動部活動中等）に対する危機管理	173
5	校外活動中（宿泊活動等）の事故に対する危機管理	176

6	感染症の発生に対する危機管理	178
7	給食による食中毒に対する危機管理	180
8	飲料水の汚染による事故に対する危機管理	182
9	新たな危機事象への対応	184
第7節 災害発生時の対応		
1	緊急連絡体制の整備	185
2	緊急対応体制の整備	185
3	避難が必要な場合	186
4	地震に対する危機管理	187
5	風水害に対する危機管理	190
6	火災に対する危機管理	194
第8節 被害を最小限にするための主な留意点と再発防止		
1	安否確認の留意点	196
2	児童生徒等の引渡しと待機	196
3	事故等発生後における教育活動の継続・再開に向けた取組	197
4	避難所としての学校の対応	198
5	事後の調査・検証・報告・再発防止	199
【参考】 学校事故対応のポイントと取組例		
1	学校事故対応に関する指針	200
2	重大事故発生時の対応	202
3	「学校事故対応に関する指針」に基づく取組の流れ	206
第9節 幼稚園等、特別支援学校等における主な留意点		
1	幼稚園等における主な留意点	207
2	特別支援学校等における主な留意点	208
第10節 安全管理の評価		
1	安全管理の評価の意義	211
2	安全管理の評価の観点	211
3	安全管理の評価の方法	212
第4章 事故等発生時における心のケア		
第1節	事故等発生時における心のケアの必要性	215
第2節	事故等発生時における心のケアの取組	218
第5章 安全教育と安全管理における組織活動		
第1節 学校における体制整備		
1	校内の協力体制	223
2	教職員研修	224
第2節 家庭・地域・関係機関との連携		
1	学校安全推進のための連携体制づくり	225
2	家庭、地域等との連携・協働	225
3	地域やボランティアの団体等との連携	226
4	教育委員会・設置者の役割	227

※参考資料

【学校安全計画例、学校に係る事件・事故対応事例、危機管理マニュアル例、学校安全点検表・集計表例】